

- ◇特集 京都市図書館
再・再点検
- ◇Report けやき総会・
図書館懇談会
- ◇Topics えほんのひろ
ばin きょうと

特集

京都市図書館再・再点検

利用者サービス向上に向けての取り組みは

けやきでは京都市図書館全体に関わる課題について、中央図書館に利用者の声を届け、現状を尋ねる機会を持って来ました。今回は2009年10月に中央図書館を訪ね、移動図書館や京・ライブラリーネット、収書方針等についてインタビューしました(やりとりはけやき32号に掲載)。今回も、誰もが使いやすい図書館に、との思いから京都市図書館間のネットワークや連携をはじめ、けやきに届いている声を携え、現状を伺ってきました。

中央図書館：福林文孝事務局長、佐藤武史図書課長
尾上奈緒図書係長、辻井栄森業務係長

けやき：永井、奥坂、北園、井上、島崎

2012年7月2日 京都アスニー会議室にて

中央図書館にインタビュー

中央館と地域館の連携は

けやき：地域館について、他都市では中央館の周りに衛星のように配置されて、中央館が地域館を支える仕組みが見られます。京都市ではどのような位置づけになっていますか。

図書館：京都市図書館の特徴は、中央館は他都市に比べて規模は小さい(蔵書数31万冊、延べ床面積2,148㎡)ですが、中央館と地域館合わせて市民が歩いて30分以内(2km圏内)で利用できる「身近な図書館」を目指して、現在の20館(こどもみらい館子育て図書館とコミュニティプラザ深草図書館を含む)を整備してきたところにあります。地域館はどこも蔵書数6万冊程度ですが、京都市図書館全体の蔵書がどの館からも(深草図書館以外)取り寄せられ、均一なサービスを受けられるように取り組んできました。その一方で地域の特徴を生かした資料収集や取り組みも大切と考えています。

けやき：中央図書館はじめ四つの中央館は周辺の学校へ支援に入っておられますが、地域館周辺の学校はそういうサービスが受けられない状況です。中央館の学校支援のノウハウを地域館に伝えてほしい。

図書館：基本は地域館で取り組み、できないところは

中央館からサポートしようと考えています。

けやき：左京図書館のような多忙な図書館ではそこまで手が回らないのが実情では？

図書館：それをどうするかは課題で、学校との連携については進めて行くべきという認識です。ただ、左京でも学校支援が実現した例はあります。中央図書館に左京区の小学校からブックトークの依頼があり、左京図書館と中央図書館が協議して中央図書館から出向いてブックトークをしました。

けやき：今年度は、学校図書館運営支援員¹が70校以上に入りましたね。それを生かすには公共図書館の支援が必要なのは？

図書館：公共図書館の学校に対する役割は、学校図書館を活用するノウハウを提供することだと考えています。学校図書館がうまく機能すれば、公共図書館にも人が来てもらえます。

けやき：公共図書館は社会教育、学校図書館は学校

¹京都市では、学校図書館の整備充実のため2009年度下半期より教育委員会が単年度ごとに異なる小・中・総合支援学校に派遣。1校当り週2～3日5時間勤務・非常勤嘱託の支援員が、11年度は32校、今年度(12年度)は78校で勤務。

教育の範疇、ということはおわかりですが、一人の子どもにとっては生活時間帯によって公共図書館にも学校図書館にも関わることになります。またいずれの立場でも本好きの子になってほしいという思いは同じですよ。学校図書館に司書資格があり給与をもらって学校図書館の仕事に専念する人がいれば、公共図書館との連携もスムーズに行えます。本や図書館についての知識や経験はもちろんです、子どもの人権やプライバシーを尊重しつつその学校の子どもの様子を把握でき、先生の授業の支援をできる人がぜひ必要です。

図書館：学校図書館運営支援員は今のところ、学校図書館の活用方法を伝えるために入っている状態です。

けやき：学校図書館に1日5時間・週2日でも、継続的に先に述べたような人が居ると、子どもと本の距離がぐっと縮まると思うのですが。

図書館空白地帯と移動図書館

けやき：京都市の図書館は歩いて30分以内が基本ということですが、実際子どもの足では遠い。特に京都市図書館整備中期計画（1984年）では左京区南部（左南）は府立図書館が30分圏内の一館として数の内に入っていますね。ところが、2001年に開館した新府立図書館は児童室がなく、周辺の子どものためには図書館空白地帯のまま、年月が過ぎていきます。どうにかありませんか？ これまで何度も声を上げているのですが。

図書館：今の段階で新たに図書館を整備する計画はありません。現状のネットワークを活かしていかに満足頂けるサービスを提供できるかを今後さらに考えていきたいと思えます。

けやき：移動図書館のステーションをこのような町なかの空白地帯にも、と2009年に要望しましたが、移動図書館車は1台しかなく、既設巡回基地の見直しは無理との回答でした。その後、少し増えたとのことですが。

図書館：移動図書館車の基地は、2009年10月時点に比べて1ヶ所増えて（愛宕ゆうこうの郷）、現在は41ヶ所ですが、基地数をこれ以上増やすのは難しいです。

けやき：移動図書館車が増やせないなら、既存施設の有効利用、例えばかつての学習センターを固定の基地にしてはどうか。移動図書館車に搭載されているような端末を置いて、京都市図書館のネットワークにつな

げてほしいと以前要望しましたが、端末を置く以上は職員が必要で無理ということでした。

図書館：ご要望のような既存施設の活用に関しては、実施する以上はきちんとした位置づけが必要であり、ネットワークの構築や体制の整備を考えると非常に難しいです。

けやき：左南の四錦学区でも図書館が近くにほしいという声があります。移転した左京区役所跡地に図書館ができればなあとか。

図書館：京都市図書館の整備は、右京中央図書館の完成で、一つの区切りと考えています。現状では、さらに図書館を整備する具体的な計画はありません。

けやき：左京図書館の利用状況は中央図書館並みです。市内の北東部左京区か北区に中央館がほしいと、たくさんの市民がずーっと思っています。

図書館：左京図書館は伏見中央図書館に肩を並べる利用状況ですね。地域館で随一の利用があることは認識していますが、現段階での整備計画はありません。

京・ライブラリーネットワークと蔵書構成

けやき：2003年に京・ライブラリーネットワークが完成、2007年にはインターネットを通して予約もできるようになり、利用も進んでいるようですが、今の課題は？

図書館：右肩上がりの利用状況です。インターネットで簡単に予約ができる反面、予約した本を取りに来ないというケースもかなりあります。とは言え、さらに便利になるようにと考えています。

けやき：最寄りの図書館では蔵書数が少なく、手に取って見られないので、中身が分からないまま他館から取り寄せ。でも現物を見るとあつ違う、ということもあります。できれば基本図書は各地域館に揃えてほしい。

図書館：地域館では基本図書とその館ならではの本、6万冊程度しか置けないのです。できるだけ偏りなく提供していくというベースの上で、利用者の声を聞きながら要望に応じて行くしかありません。

けやき：私たちがずっと要望していたヤングアダルト（YA）のコーナー²（館によってはブックトラックのところも）は実現されて大好評ですね。魅力のあるテーマ展示やパンフレット「本のもり³」などは、本を選ぶ時、はずれの減る一つの手だてだと思います。その視点から、テーマ検索については？

図書館：あまり機能していないのが現状です。

けやき：書架や目録を見ながら探す時は、思わぬ本との偶然の出会いや、周辺の本との出会いがありますが、ネット検索はその辺りは弱いですね。キーワード検索なら本との出会いの幅も広がるかなと。

図書館：実際のところ現状では、司書がブックリストを作る方が有用かもしれません。

図書館：右京中央図書館では利用者推薦のヤングアダルトリストがあります。

けやき：簡易印刷でいいので、そのような各館で工夫されたリストを全館に配置してもらえませんか。

図書館：共通の財産として他の地域館に配布するのはいいと思います。

児童サービス

けやき：けやきが開催している左京図書館の絵本学習会で、今年は国語教科書に出ているおすすめ本リストに掲載の本を読み合っています。左京図書館にはそのリストの本が半分もなかったんです。こういう本は各地域館に1冊はほしい。

図書館：せっかく子どもたちが教科書に載っているからと、興味をもった本を図書館に借りに行ったらない、というのは、なんだ、ということになりますね。これは検討した方がいいと思います。

けやき：教科書掲載のリストは子どもにとって最も身近なおすすめ本リストなので。

図書館：全館にすべて揃えるのは難しいですが。

けやき：この館になくても、あそこの館に行ったら絶対ある、というのでもいいと思うのですが。かつて京都市新中央図書館基本構想審議会（ここで出された最終答申〈1999年〉は財政難で現在は凍結中）で子ども文庫連絡会のメンバーが児童書全冊購入を要望し、それが認められて一時期先行購入で全冊購入されましたね。現在は？

図書館：今は全冊購入していません。既に購入した分は右京中央図書館の蔵書になっています。右京中央図

書館もすでに書庫の余裕はあまりなく、毎年新しい本がどんどん出ていますが、絵本は定番のものも残して行かなければなりません。

図書館：滋賀県立図書館には全点購入した本を並べておく部屋がありました。全点購入には場所が必要で、資料保存の目的でハードも作らないと難しいと感じました。（現在滋賀県立図書館は全点購入していない）。資料保存の目的では最終的には国会図書館があります。京都市図書館では、児童書の保存を念頭におき、残して行かなければならない本は向島の書庫に保存することも考えています。

けやき：その書庫に入った本は利用できるのですか？

図書館：向島の書庫の本は中央図書館で管理していて、現在は個人貸出はしていませんが、そこで保存している雑誌を最寄りの図書館で閲覧して頂くことができます。図書については、現在整備中です。

障害者向けサービスと広報

けやき：障害のある人（障害者手帳のある人もない人も）に図書館で利用できるサービスの情報がなかなか届いていないようです。「音の文庫⁴」は？

図書館：音の文庫は醍醐中央図書館を窓口に、右京中央図書館とこどもみらい館子育て図書館の資料も利用いただけます。

けやき：各館に音声変換や活字を大きくする機械はありますか？

図書館：デイジー⁵など、これからの活用を研究しているところです。

けやき：電子図書についてはどのようにお考えですか？

図書館：拡大して見られるのは利点で、電子図書も研究の余地があると思います。

けやき：子ども向け大活字本が少ないという声もありますが、機械で対応できるのなら、そういう機器を中央図書館に置いてほしい。

図書館：拡大読書機は中央図書館と山科図書館にあり

² 最も公共図書館から遠いといわれる主に中高生を中心とする10代の子どものニーズに応える資料を集めたコーナー。右京中央図書館ではティーンズコーナーと呼んでいる。

³ あかちゃんから中学生まで読んでもらいたい本を解説付きで紹介したブックリスト。図書館に常備・配布されている。

⁴ 来館することが困難な視覚に障害がある人を対象に、京都ライトハウス情報ステーションを経由して京都市図書館所蔵の視聴覚

資料を貸し出す事業。2002年開始。

⁵ DAISY（デイジー）。デジタル録音図書の国際標準規格であるDigital Accessible Information Systemの略。普通の印刷物を読むことが困難な視覚障害者、ディスレクシア、学習障害者、知的障害者、精神障害者などの人々が、情報にアクセスできるように考案された情報システム。

ます。

けやき：そうなんですか。ぜひ広報をお願いします。障害者手帳交付時に地域の図書館の情報はもらえますが、更新はされないんです。

図書館：現在ある設備で利用者に伝わっていないものは、しっかり広報できるよう工夫したいです。

けやき：現在は図書館利用案内に、障害者へのサービスの補足がある形ですが、障害者用の利用案内を別途作成してください。子ども用のわかりやすい利用案内も。

図書館：各館でつくっているものを情報共有して行きたいです。

けやき：ぜひお願いします。また京都市図書館のインターネット検索では、入口が子ども用でも進んで行くと大人用になってしまいます。これも改善してほしいですね。

返却ポストの新設

けやき：図書館以外の場所の返却ポストは、2009年に地下鉄市役所前駅と京北自治振興会図書室にできて

便利になりましたが、その後新設は？

図書館：北大路駅の南改札付近にできました。

けやき：右京中央図書館と醍醐中央図書館にも駅近くに返却ポストがあるのですね。

図書館：右京中央図書館（右京区総合庁舎3階）には図書館入口の返却ポストの他に、庁舎ビル1階にも設置、醍醐中央図書館（パセオ・ダイゴロー4階）にも施設1階入口に設置しています。

けやき：その二つの返却ポストは、施設内ですが、地下鉄駅にも近くて便利です。CDなど視聴覚資料は返却ポストに入れず窓口に戻すというルールを守って、上手に使いたいですね。これらのサービスもまだまだ市民に十分には伝わっていません。市民を図書館へ誘うパンフレット「いつだってとしまかん！」が、地下鉄の駅や区役所・美術館など様々な市の施設に置かれていますが、もっともっと新たに始まったサービスなどいろんな媒体を使って積極的に市民に知らせていただきたいと思います。

インタビューを終えて

前回の、京都市図書館の現状を聞き利用者の声を届けた「中央図書館にインタビュー」から3年、この間、新図書館の建設といった華々しい要望は残念ながら実現しなかったが、各図書館にヤングアダルトコーナーが設置、移動図書館の情報が市民新聞に掲載、学校図書館への団体貸し出し促進、図書館のチラシを他の市の機関に置くなどして積極的に図書館の存在をアピールすることなど、けやきの長年の提案が実った。

今回もハード面の要望への壁は厚く、相変わらずなかなか届きそうにない。ならば、当面の施設の不足を補い利用者の図書館へのアクセスの不公平を補う手立てをぜひ実施して欲しいとの思いから、中央館と地域館の連携について伺った。左京図書館の実情を見ると、地域館の規模（施設の面積・蔵書数・職員数）では、単独で利用者のニーズに十分にこたえるのは無理である。京ライブラリネットワークによる蔵書の相互利用だけでなく利用者サービス（特に児童や高齢者・障害者への）の面でも、中央館で実施しているサービスを地域館の利用者も受けられるよう、ぜひ工夫していただきたい。

また、ここ数年、市内の一部の小・中・総合支援学校

に学校図書館運営支援員が派遣されるようになり、非常勤ではあるが学校図書館に専門の人が居るようになった。その人たちを窓口として学校図書館との連携を深め、団体貸し出しだけでなく、多様な支援をお願いしたい。

新図書館の建設が難しいとされる今（これとても市民の税金の使い道として図書館建設の優先順位はこんなに低いのかと大いに疑問はあるが）、今後の京都市図書館の一層の充実を支えるのは、図書館間の連携・協力とマンパワーであると思う。そこから考えると経験豊富な司書が数年単位で首を切られるようなシステムはもつてのほかであり、20館が個々バラバラの指定管理者に運営されるような制度が導入されれば図書館間の連携・協力も難しい。今後図書館の管理運営方式を決定するにあたり、今の京都市図書館の実情を見ると、利用者の立場から考えても、指定管理者制度の導入はふさわしくないとと思う。

今回は時間不足でお聞きすることができなかったが、図書館が目指しておられる「京都市図書館の将来像」を、次回はぜひじっくりお伺いしたい。（永井）



「えほんのひろば」は、奈良のえほん研究家加藤啓子さんが各地に広めておられる企画です。左京図書館では、けやきが主催し左京図書館が共催して、子ども読書の日記念事業として、2010年から始め今年で3回目となりました。

最初の年は1日だけでしたが、昨年から2日間計7時間開催しています。図書館の上の階にある大会議室いっぱい、ダンボール製の特製書架面展台を使って全て表紙が見える形で、けやきと司書さんとで選んだおすすめの絵本約330冊を並べ、自由に見てもらっています。絵本をゆつくり一人で楽しめる隠れ家的なスペースも作っています。今年にはさらに特別企画として、福音館書店の月刊「ちいさなかみがくのともし」が創刊10年経たので、バックナンバーを読

み比べてみようかと会場に並べてみました。けやき事務局や左京図書館絵本学習会のメンバーがスタッフとして待機し、子どもたちから「読んで〜」とリクエストがあれば、何冊でも！読みます。

昨年は大雨にたたられ、今年は宣伝活動が十分にでなかったこともあり、参加者の数は少し淋しいものでしたが、来てくれた人たちはどの人も、様々な絵本を手にとってゆつたりと長時間過ごしてくれました。親子連れだけでなく学生さんや若い男性の参加もあり、終了後の反省会で、今後もこの行事が定着したくさんの方に楽しんでいただけるよう、報知の方法や会場の選定などをもっともっと工夫しようと、話し合いました。(永井)



天狗はどこから来たか
杉原たく哉著 大修館書店
あじあブックス 2007年

天狗といえは、高い鼻に赤ら顔、山伏姿に大きな羽。でも、なんで天の狗(いぬ)なんて名前なのでしょう。発祥の地中国では、ちゃんと犬の姿をしているからなお不思議。それじゃあ、私たちが知る天狗は一体どこから？ポピュラーなのに意外と謎が多い天狗について、図像学を用いて鋭く、かつ分かりやすく書かれた一冊です。(中京区・厚焼サネ太)

おかあさんだいすき
光吉夏弥訳・編
岩波書店 1980年

小さい頃、私の家には「岩波の子どもの本」がたくさんありました。母が毎晩、何か一冊を読んでもくれました。私のお気に入りにはマージョリー・フラックの「おかあさんだいすき」でした。お母さんにぎゅつと抱きつくダニー、お話の最後が心に残っています。母がたくさんの本を読んでくれたこと、たくさんの絵本やお話に出会えたことを思うと、ぼろぼろになった本をどうしても手放すことができません。(左京図書館・井上孝子)

けやきの
本棚 39

私の
おすすめの本

風の海峡

上 波頭を越えて
下 戦いの果てに

吉橋通夫著

講談社 2011年

教科書では、「秀吉の朝鮮出兵」と一行程度で片づけられる文禄と慶長の役。当然戦争だから、一言では語れない。この戦いの中、日朝を問わず人々との信頼関係を築きながら友との約束を守りしよんとする少年信吾。信吾の目に映る秀吉の蛮行とそれを阻止できない大名たちの姿。信吾の成長を楽しみながら、日朝関係の歴史的一幕を知れる一冊。

(会員・右京区・おきよさん)

いま求められる図書館員
京都大学教育学部図書室
の35年

福井京子著

岩田書院 2012年

公共図書館、大学図書館を問わず、そこに何が置かれているかの蔵書とともに、蔵書を手渡す司書の役割がとても大切です。一昔前とは違い今は、図書館にはパソコンや蔵書の検索機があり誰でも簡単に必要な資料に行き着くことができるようになりました。司書という仕事がいなくなってしまうか見えます。本当にそうでしょうか。パソコンでは答えの出ないのが私たちの生活です。この本に書かれていることは、一大学内の図書室のできごとかもしれません。司書の仕事はいかにあるべきなのかその本質が見えます。図書館を愛する人に読んでほしい。(会員・諸岡弘)

2012年度活動テーマは「京都市図書館のこれから」を考える

ORT 図書館友の会けやき総会と図書館懇談会 2012年6月11日

2012年度けやき総会

6月11日、来賓として、古川左京図書館長、吉田区社協事務局長のお二人をお迎えして、「2012年度図書館友の会けやき」の総会を行いました。

今年4月に赴任されました古川館長から、図書館の行事に対する協力や提案に感謝し、ニュースレターの発行、多岐にわたる活動に敬意を表しますと挨拶がありました。

図書館の利用に関しては、インターネットの普及に伴い、予約件数、視聴覚資料の貸し出しは増加しています。利便性が浸透、定着したと考えています。一方、図書館の運営費は10%以上の削減となりました。そのような中、利用者の協力を得ながら、より身近な図書館を目指したいと述べられました。

吉田事務局長からは、ボランティア団体への助成金原資の総額の減少についてお話がありました。日赤共同募金の

総額が13~14%ダウンしており、自ずと各団体への助成金も減少せざるをえないということです。結果今年は1万9千円となりました。読み聞かせなど本を通したボランティア活動は有意義で、本が子どもの将来にいい影響があると期待しているとの考えをお聞きし、心強く感じました。

来賓のお二人が退出された後、2011年度の活動報告、会計報告が承認されました。今年度の活動方針は、昨年度の指定管理者制度の学習を踏まえ、「図書館の現状を再点検し、市民利用者にとってどのような図書館運営が最も望ましいのかを引き続き検討する」と決まりました。手始めに、現状の疑問を取り上げつつ図書館運営について、中央図書館に話を聞きに行くことになりました（今号特集をご覧ください）。また、新企画（「図書館で発表会」「えほんのひろばinきょうと」）については、継続するとともに、内容を深め、さらに多くの人に参加していただけるよう考えていくこととなりました。（北園）

図書館懇談会

総会の後、今回で8回目となる図書館とけやきの懇談会が開かれました。

まず最初に、古川新館長と高井司書に左京図書館の利用状況や課題を報告していただきました。

【古川館長】

・京都市全体の個人貸出冊数は昨年度約781万冊、左京図書館はその内約50万冊（1日当たり約1800冊）を占め、京都市図書館では5位。予約数は約14万3000冊（内インターネット予約は約12万冊）で京都市図書館では3位。貸出冊数の最高は2月5日の2743冊。返却は5月8日の3824冊。

・4月、5月に職員異動があり、今年度は職員8名、臨時職員8名（短時間勤務のものを含む）の構成。図書館ボランティアとして25名が登録。

・返却、予約の増加に追われる。本来の仕事に携わる時間を確保するため、事務室内のレイアウト変更をして仕事がスムーズにできる環境を作るなど工夫している。

・車いすで来館される方の駐車スペースについて。合同の建物であるため表に駐車スペースが確保できず、裏から周ってもらっていることを申し訳なく思っている。

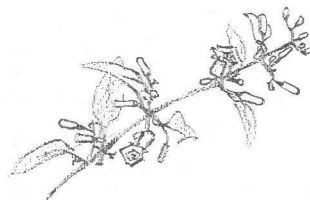
【高井司書】

・職員一同、けやきの活動・協力を感謝している。司書が主体的に取り組むことはできていないが、一緒にさせてもらっていることで、刺激になり学ばせてもらっている。赤ちゃん連れで新規登録に来た方には「赤ちゃんサポーター」の紹介をするなど、活動の環境を整えるという形で関わっていききたい。様々な事業を通じ、図書館に親しみを持ってもらえるよう取り組みを進めたい。

・来館者に気持ち良く利用してもらえるように、明るく、丁寧な対応を心掛けている。楽しく、気持ちよく本探しをしてもらえるよう、書架の整理、生き生きとした本棚づくりをしたい。地域館として、地元の情報の発信にも努めたい。

・左京図書館にいと、図書館が生活に根付き、本好きな方との出会いも多く、やりがいを感じている。

・司書に気軽に声をかけてください。



その後、参加の利用者から次のような発言がありました。(◆利用者)

◆冷暖房が利き過ぎている(アンケートより)

〈館長〉集客施設であるので一律28℃設定ではないが、場所によって差があるのかもしれない。対応できないか考える。

◆読みたくなる本がない。いつも同じ本がならんでいる。(アンケートより)

〈高井〉新着・人気の本は予約が入るため、書架に並ぶことがない。これはと思う本は展示スペースに置くと目を留め、借りていただけるようなので、魅力ある棚作りに努めたい。

◆選書の方針、進め方を教えて

〈高井〉左京図書館として明文化した選書方針は定めていないが、利用状況や蔵書構成等に基づいて購入図書を決めている。高価、専門性の高いものは中央図書館に依頼することもある。

◆児童図書について 遠方の図書館まで行けない、予約することが難しい児童に対して、地域館の児童書を充実してほしい。左京図書館には定番の児童書でもないものがある。

(高井)「えほんのひろば」の本の確保作業をしていて、左京図書館にない本が気になった。再点検して見直していきたい。棚に入りきらない本もあるので、バランスを考え、進めていきたい。

◆学校図書館ボランティアが活発になっている。この館へ来たなら児童図書がすべてそろろうという館があるという。左京区にも右京中央図書館くらいの図書館が必要だと思う。

「左京図書館は気持ちよく利用できる図書館だと思う」という、家族の声も紹介され、総会で決定された活動テーマ「京都市図書館のこれから」を図書館とともに考えていく一歩となる懇談会でした。

利用者の声に丁寧に答えていただき、このことの積み重ねが、京都市図書館の望ましい姿、運営方法を考える上で大切なことだと思いました。

さらに、日々、利用者のために仕事をされている職員の方の声をお聞きする機会に、図書館の現状を知ると同時に、忙しい中で工夫・努力されていることに感謝したいと思いました。(田中)

TOPICS

左京図書館古川館長さんから、左京図書館と左京老人福祉センターとの共催事業や合同企画の様子が届きました

懐かし名画シアター 5月26日

おとなのための図書館事業として、「けやき」の皆様からのご助言をいただきながら実施している「映画上映会」ですが、今年は老人福祉センターと共催で、合同福祉センター1階ホールを使って開催しました。

第1回目の今回は、ミュージカル映画の名作「雨に唄えば」(1952年米作品)。

当日は、50名を超える方に参加いただき、素晴らしい唄とダンス、そして笑いがあふれる作品をお楽しみいただきました。またあわせて図書館内では、映画監督や俳優等に関する本の特設展示を行いました。

次回は、9月頃の開催を予定しています。詳細は、館内ポスター等でお知らせいたします。皆様のご参加、お待ちしております。

水無月 吹奏楽ミニコンサート

6月30日

午後2時から、左京合同福祉センター1階ホールにおいて、左京図書館・左京老人福祉センター合同企画『水無月 吹奏楽ミニコンサート』を開催しました。

当日は、京都市立下鴨中学校吹奏楽部(71名)のみなさんが、コンクール課題曲「希望の空」をはじめ、J-POPやアニメソング、ピンクレディーメドレー、映画音楽など、幅広いレパートリーの6曲を素晴らしいハーモニーで演奏していただき、会場には約120名の参加者の笑顔と大きな拍手があふれました。

アンコールでは、演奏に乗せて、参加者と部員が一緒になって「ふるさと」を合唱し、感動的なフィナーレとなりました。

ご来場いただいた皆様、そして、とても素敵な時間を演出していただいた下鴨中学校吹奏楽部のみなさん、本当にありがとうございました。

(左京図書館・古川)

□左京南支部小学校ボランティア 読み聞かせ交流会

- 第1回 9月4日(火)「えほんたいけん・えほんたんけん」講師 中川あゆみさん
 第2回 9月7日(金)「やってみよう 読み聞かせ」講師 左京図書館司書さん
 「科学の本のブックトーク」講師 島崎真紀子さん
 第3回 9月13日(金)小グループに分かれて絵本の読み語り実践交流
 *いずれも午前10~12時、左京合同福祉センター左京図書館の上3階大会議室にて
 *絵本の読み語りを始められたばかりの方も、ベテランの方も楽しく交流しましょう。

*第1回と第2回は左京図書館
 絵本入門講座でもあります。
 左京区南部の小学校以外で活動
 されている方や活動はしていな
 いが絵本に興味関心がある方
 も、ぜひご参加ください。
 *事前申し込み不要

*問い合わせ
 図書館友の会 けやき 永井
 Tel/Fax 075-721-2625

◆図書館友の会 けやき の仲間になりませんか◆

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい
 そんな私たちの望みをかなえ、
 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所
 それが私たちの願う図書館です

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいき
 とあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活
 動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。

図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、
 育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおたのしみ会(毎月第4土曜日11:00)に協力。
 絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃんに絵本を」サポーター

毎週木曜日10:30~12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお
 手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者を結
 ぶけやきの活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間
 や左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日10:00~。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合
 う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な
 興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ

下記事務局または郵便振込口座にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方

TEL/FAX 075-721-2625

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番

口座名称 図書館友の会 けやき

年会費はニュースレターの印刷および郵送費の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎。直接又は上記の振込口座をご利用下さい。

けやき情報版

京都市図書館は8月末まで
 休館日もクールスポットとして
 開放

京都市図書館では、この夏節電対策
 として、7月21日から8月末まで休館
 日も開館し図書の見返しと返却ができる
 クールスポット開放を行っている。

本来は休館日の7月25日、左京図書
 館をのぞいてみた。小学生から高齢
 の方まで、閲覧机に座って本や雑誌な
 どを読んでいたりと、書架を巡って
 いたり、結構多くの方がゆったりと涼
 やかな時間を楽しんでおられた。

あなたも、ぜひ。

世界の絵本展

わかりあうってどんなこと?
 てをつなぐってどんなこと?
 へいわってなんだろう?

8月22日(水)~26日(日)

11:00~17:30

京都市国際交流会館 kokoka 2F

姉妹都市コーナー展示室

問い合わせ

京都市国際交流協会図書・資料室

Tel 075-752-1187

◇けやき 第39号 2012年7月27日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部
 題字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のSさん
 カット 高野のHさん

◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101 永井方

TEL/FAX 075-721-2625

編集後記

▽創刊からずっと続いて
 本紹介の欄「けやきの本棚」
 他記事は読まなくてもこの
 だけは読みたいという声も
 だる人気欄です。今回も
 手に取ってみたい本が並ば
 した。前号の特集「指定管理
 者制度を考へる」に関連して
 図書館司書について知るこ
 とができる本も紹介を寄稿頂
 きました。(き)
 △こんな図書館が欲しい、
 いう望みは尽きない。けれど
 現実にはなかなか見果てぬ
 となるばかりか、せつかく現
 状を改善しようとする今日
 になってしまったこと、後退し
 ながらも、しかし、図書館
 この頃、。しかし、よ
 言われていたように「図書館
 は生(なま)もの」を利用して
 が絶えず見守り声をあげて
 細いことで前向きに変わ
 日々である。(り)